

ヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom」を宮城県に提供し、健康増進を支援



株式会社ディー・エヌ・エーのヘルスケア事業の中核を担う株式会社データホライゾン(本社:広島県広島市、代表取締役社長兼 CEO:瀬川 翔)の子会社、DeSC ヘルスケア株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:瀬川 翔、以下 DeSC ヘルスケア)は、宮城県の委託を受け、県内の市町村国民健康保険に加入する満18歳以上(令和6年3月31日現在)の方を対象に「楽しみながら、健康に。」を実現するヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom」の提供を開始します。

宮城県は、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が、15年連続で全国ワースト3位以内にあり、生活習慣の改善が進んでいないという課題を抱えています。このような課題において「kencom」は、歩数等の健康情報や特定健康診査の結果を可視化すると共に、ユーザーの健康意識の向上、健康行動の習慣化を促進することで、生活習慣の改善をサポートします。また、オンラインウォーキングイベントを通じて、他のユーザーとコミュニケーションを取りながら運動を続けるきっかけを作り、地域全体の健康増進に貢献します。さらに、「kencom」の利用により得られたデータを活用することで、地域の健康課題をより施策に反映することが可能になります。詳細は宮城県のHPを参照ください。

[宮城県 HP 国民健康保険加入者向け健康増進アプリ「kencom」のページはこちら](#)



「kencom」は、2015年のサービス開始以来、健康保険組合・健診医療機関・地方公共団体・生命保険会社など、126団体、約800万人に提供し、健康意識レベルに関わらず、幅広い方々の健康増進をサポートしています。アプリの特徴として、ユーザーが健康的な行動を続けることによってポイントを獲得できるプログラムの提供や、ゲーム開発のノウハウを活用したペットキャラクター育成機能などがあり、ユーザーが楽しみながら継続的に利用できる設計となっています。こうした特性を活かし、ユーザーがアプリを月に1回以上起動する継続率は約60%の水準を維持しています。

今後とも DeSC ヘルスケアは、「kencom」の提供等を通じて「楽しみながら健康に。」を実現し、健康寿命の延伸、医療費適正化の課題解決を通じて地域の活性化に貢献していきます。



<kencom の主な機能>

1. 健康活動のきっかけ作り

取得データの経年変化や同性同年代との比較等、被保険者の健康状態を分かりやすく表示し、スマホで閲覧可能。また将来の健康状態を予測する「ひさやま元気予報」で健診結果に基づいた生活習慣病の発症リスクを可視化。

2. 意識を変容する

ユーザーの健康状態に合わせた記事を表示。記事を閲覧することで、健康に対する意識を変える。

3. 行動を変容する

年に2回(春/秋)開催するオンラインウォーキングイベント「みんなで歩活」で歩くきっかけをつくる。

4. 行動を継続する

ミッションの達成などで付与されるポイントを貯めることで、行動が継続できる。

5. 健康活動を楽しむ

健康活動をするとペットキャラクターとコミュニケーションができる、キャラクター育成機能「エアモ」で、健康活動を楽しく習慣化する。